

同時発表：横浜川崎国際港湾株式会社
阪神国際港湾株式会社

令和5年12月22日
港 湾 局
国際コンテナ戦略港湾政策推進室

国際コンテナ戦略港湾における積替実証輸送の参加者を選定しました

使いやすく競争力のあるコンテナターミナルの実現に向けて、国土交通省・横浜川崎国際港湾株式会社・阪神国際港湾株式会社が連携し、初の試みとして、令和5年9月22日から12月15日まで、国際コンテナ戦略港湾(京浜港、阪神港)における積替実証輸送を公募しました。今般、4件の実証輸送を選定しましたので公表いたします。

1. 実証輸送の概要

新型コロナの影響による世界的な国際海上コンテナ物流の混乱下では、海外港湾での貨物の滞留等により、海外港湾を経由した積替輸送のリードタイムが大幅に増加するなど、我が国輸出企業のサプライチェーンに影響を及ぼす事態が発生しました。

この経験等も踏まえ、日本発着の国際基幹航路を維持・拡大し、我が国産業のサプライチェーンを強靱化するため、国際コンテナ戦略港湾において、国際基幹航路とこれに接続するフィーダー航路※の円滑な積替機能を確保し、競争力のあるコンテナターミナルの実現に取り組むこととしています。

本実証では、京浜港、阪神港におけるコンテナ貨物の積替輸送にご協力いただける荷主企業等を公募し、コンテナターミナルにおける積替実証輸送を行うことにより、積替円滑化に向けた課題等を把握するとともに改善策の検討を行います。

※フィーダー航路：国際基幹航路に接続する支線の役割を担う外航・内航航路

2. 公募の結果

国土交通省では、令和5年9月22日(金)から令和5年12月15日(金)まで、実証輸送の参加者を公募し、4件の実証輸送を選定しました。

実証輸送の概要は、別添資料をご参照ください。

3. その他

公募要領等の関連資料につきましては、以下の国土交通省 HP をご参照ください。
(URL: https://www.mlit.go.jp/report/press/port02_hh_000191.html)

【問い合わせ先】

港湾局 港湾経済課 国際コンテナ戦略港湾政策推進室 江越、高田、金子

代表：03-5253-8111 (内線) 46855、46644 直通：03-5253-8628

Eメール：hqt-containerteam★gxb.mlit.go.jp ※「★」を「@」に置き換えて下さい。